

1	木造4号の基礎高さについて、GL+300必要であるが構造計算で安全が確認出来た場合GL+300以下でもよいのでしょうか？また、保証については問題ないのでしょうか。	令第38条第4項の構造計算で安全を確かめた場合は適用除外となります。保証については各保険等の受託者が定める仕様とすることが必要ですから、その仕様書を確認してください。	19	施工前に意匠・構造で協議が必要ではないですか。	意匠・構造の協議も必要であるが、現場での配筋要領の協議が必要になります。
2	柱が小さい場合(梁成も含む)定着長の40dをどのようにクリアしますか？ 講義で紹介された以外の方法は無いのでしょうか。	断面算定で定着長を確保できるような断面を提示するように考えて下さい。	20	意匠設計者が構造図を確認できる事が大切では？	分業が進み、図面の確認が出来ない人が多いのですが、図面の見方等は出来た方がよいと判断します。
3	令73条の定着(ルートⅠ・Ⅱ)の規定は廃止になるのでしょうか。	廃止ではなく改正されました。大臣の定める規準に従って構造計算で安全を確かめた場合に適用除外となります。学会RC規準2010年版第17条による場合は特別な調査研究として認められます。	21	鉄筋集中時の手直しの方法のバリエーションなどを知りたい。	集中部分の手直しは難しいので、配筋計画をしっかりと行い集中しないようにする。
4	現状の40dは折り曲げ定着でも、支障は無いのでしょうか。	折り曲げ定着で支障はありません。	22	斜め交差する梁の定着についての長さはどう考えるべきですか。(スッキリしない配筋がありました。)	斜め交差する梁の定着とはどういう意味でしょうか？
5	中間検査において配筋はどの程度シビヤに検査されるのでしょうか。参考に教えて下さい。	審査員によって違いがあり統一されていないように感じますが、各個人で検査前に確認をし検査を受けるようにしましょう。	23	最近のベタ基礎等の打継ぎのレイタンスなどを考慮した対応方法はどんなことをしているのでしょうか(竹ぼうきなどで対策していました)	現在では、打ち継ぎ部分を高圧洗浄にてゴミを除去してコンクリートを打設する事となっています。
6	鉄筋の定着の方向について、上端筋は下向き・下端筋は上向きが好ましい理由を教えてください。	構造のメカニズム(大地震時において)が、計算書の巾身と合致していると言われています。	24	合成スラブの溶接金網の配筋で重ねをした場合の最大4枚重なるかがぶりについては不足しないのでしょうか	溶接金網の場合ひび割れ防止筋の配筋も必要になる事より、D10での配筋を検討してみては如何でしょうか。
7	小規模壁式構造などの配筋の注意点を教えてください。壁柱・壁梁の配筋方法で梁筋が内側になるかがぶりについてはどう考えるべきですか。	壁式構造は、断面が薄いため、壁の縦筋と横筋のどちらを外側に配筋するかで、納まりが全く違ってきます。かぶり厚さは、法令上順守しなければいけませんので、施工前にあらかじめ施工図で確認をすることが大切であると思われれます。	25	鉄筋のJIS規格を証明するものはミルシートで確認を行います。海外から来た規格外品の使用はどうか	一般的にはミルシートで確認します。海外の商品については詳細は不明です。通常特記仕様でJIS規格品が指定されています。規格外の使用は構造計算にも関係しますので、設計者に確認してください。引張り試験も必要。
8	L1h・L2hのフック90°・180°の場合のちがいは？	配筋指針参考で、フックの角度によりフックの長さが違う使用部位によって使い分けて下さい。	26	現場での注意はかぶり厚は図面通りできているかの確認ですが、現場の不注目の多いので現場監督の意識向上が不可欠では？	現場監督者の意識向上も必要であるが、配筋工への勉強会を行うことが必要となります。
9	小規模建築物(4号)についても定着などは準拠すべきですか。	一般規定を満足するように考える必要があります。	27	かぶりを確実に確保できる方法を教えてください。(特に下端筋)	スペーサーを使いかぶり確保の工夫をして下さい。コンクリート打設時にスペーサーが落ちかぶり不足が発生しています。
10	木造基礎の立上げのフックは必要ですか?(かぶりや納まりが悪くなります)	かぶりの確保・納まりやすいような一般的な設計をこころみではどうでしょう。(4号建築物では、法令上必ずフックが必要とは規定されていません。構造計算によるせん断補強筋となる場合はフックが必要。保証は受託者の定める仕様とすることが必要。)	28	特記仕様書の改定が間に合わず、適判で指摘を受けたが最新版で準拠すべきですか、古い物を採用する事はできませんか	設計図書に添付したものが準拠基準になります。あまり旧版が添付している場合は変更を求められる場合もあります。最新版への変更時期は不明です。定着等が変わっている部分があるので、計算との整合が確認されている必要があります。
11	アンカーボルトの溶接はOKですか	OKとは言えないが、溶接点で耐力があるとは判断出来ない	29	適判で、基礎梁等のねじれを考慮してくださいとのこと、基礎の腹筋がたくさん増えた事があったが、ねじれを考慮した場合の腹筋の定着についても一般とは相違がありますが、そのことについて教えてください。	通常の腹筋はひび割れ防止筋であり、梁に少し入れ止めてしまいますが、ねじれを考慮した腹筋はねじりモーメントによる軸方向応力が発生するので、通常どおりのL2定着が必要になります。
12	RC柱型内の設備配管は可能ですか	一般的には可能とは言えない。配管部分を欠損として扱い安全確認を行うか柱外に増打をしその部分に配管する方法が一般的では	30	耐震診断で壁のスリットを入れることがあるが、鉄筋を残すようにスリットの施工は難しいのでしょうか	一般的に、スリットはカッターにて施工するので鉄筋を残す事はそれ難しい工程ではないと判断します。
13	排気開口部はリングレン等の補強が必要と構造設計者が言いますが、小さい開口における補強の規定がわかり補強の必要が無くなったと別の意匠設計者に聞いたのですが、どう考えたらいいのでしょうか	規定があるにしても安全確認は行う事が前提になると思いますので、安全確認を行ってもらい補強方法を決定すべきではないですか。	31	鉄筋の後組・先組方向は計算に著しく安全を確認する程の必要性はあるのでしょうか	設計段階で有る程度決めておき図面化しておけば質疑等で双方が確認しあう事ができると思います。(影響は2%~3%以下だと思いますので計算精度を考慮すると問題はありますが、法令の規定という観点からは安全側にすることが必要です。)
14	木造3階基礎の中とかぶりの関係を教えてください。	基礎底板の主筋のかぶり厚は6cm以上、立ち上がり部分のかぶり厚は4cm以上が必要です。フックがある場合はフックの全ての部分のかぶり厚の確保が必要です。	32	成の高い基礎梁は上端筋を保持する為にアングル等で受けているが、断面欠損の考慮・さび止め塗装の必要はあるのでしょうか	大きな断面欠損なら考慮すべきだと思います。加えて、アングル等の錆止めは最低限必要と判断して下さい。
15	木造基礎立上りコーナーの配筋の納まりが上下に鉄筋が重なりあき寸法が採れない場合はどうすればよいですか？	あき寸法を取れるような配筋計画を行うようにしましょう。	33	最上階の柱の定着は必要ですか。梁筋を柱に定着している為、どちらかで定着できているならば最上階はOKとなりますか	基準の記載通りいきますと、どちらかでよいという記載は有りませんので、両方で定着をしっかりとして下さい。
16	コンクリートの打ち継ぎ部分でかぶり不足が多いかどのようにすればよいですか	施工を注意して行っていただくしかありません。打ち継ぎ目地底でかぶり厚が不足すると、違反建築になります。(打ち継ぎ目地の深さは、増しコンクリート厚以下であることが必須。)	34	突出部の定着を図面に明示した方がよいのでは？	突出部などは、かご筋などの定着を確保するための工夫が必要なので、図面に記載して注意をさせる事が重要だと思います。
17	CADなどで構造の原寸図・配筋要領を書いた方がよいでしょうか(現場施工図・構造設計時)	検討が必要であると判断します。	35	圧接の抜き取り検査の妥当性を教えてください。検査結果が遅れて出てくるので工期に支障がでる。代わりに、超音波で検査を行いたいのが問題点を教えてください。	抜き取り検査は、形状寸法、耐力、破断箇所を確認すること、圧接工の技量を判断するために必要です。代替検査とする場合は特記仕様の記載が必要です。圧接部の超音波検査の精度については承知していませんので試験機関に確認してください。
18	設備配管が多いのですが、構造体との関係を再度確認した方がよいのではないですか。	スリーブ図作成の必要がありますので、確認する事が必須となります。	36	ベタ基礎の配筋で、定着長さはいくら必要ですか？	ベタ基礎は基礎スラブにあたりますので、スラブ配筋の要領で行う事とします。